

市町村名	北大東村
------	------

**令和4年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	5-①	土づくり推進事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ア
担当部署名	経済課	事業実施(予定)年度 令和3~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と 精算供給体制の強化
				Ⅲ-1-(6)

**事業内容**  
大東島の土壌は、高密度、強酸性で、本村でさとうきび等の栽培を行う上で悪条件な土壌であることから、圃場ごとに土壌カルテの作成を行い、圃場ごとに適した土壌作りを促進し、農産物生産量を増加させる。

**効果発現年度**  
 当年度       後年度(令和7年度)

**実施方法**  
 直接実施       委託       補助       負担       その他( )

		R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	12,000	—	5,000	—
		(b) 予算現額	12,000	—	3,960	—
		(c) 増減額(b-a)	0	—	—	—
		(d) 繰越額	—	12,000	—	3,960
		A. 計(b+d)	12,000	12,000	3,960	3,960
		B. 執行済額	0	11,990	0	3,960
		うち交付金充当額	0	9,592	0	3,168
		次年度繰越額	12,000	0	3,960	0
		執行率(%) (B/A)	0.0%	99.9%	0.0%	100.0%
		予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による村独自の来島自肅等により、島外の受注業者が来島できず、業務工程に影響が生じ、3,960千円を令和5年度に繰越した。			

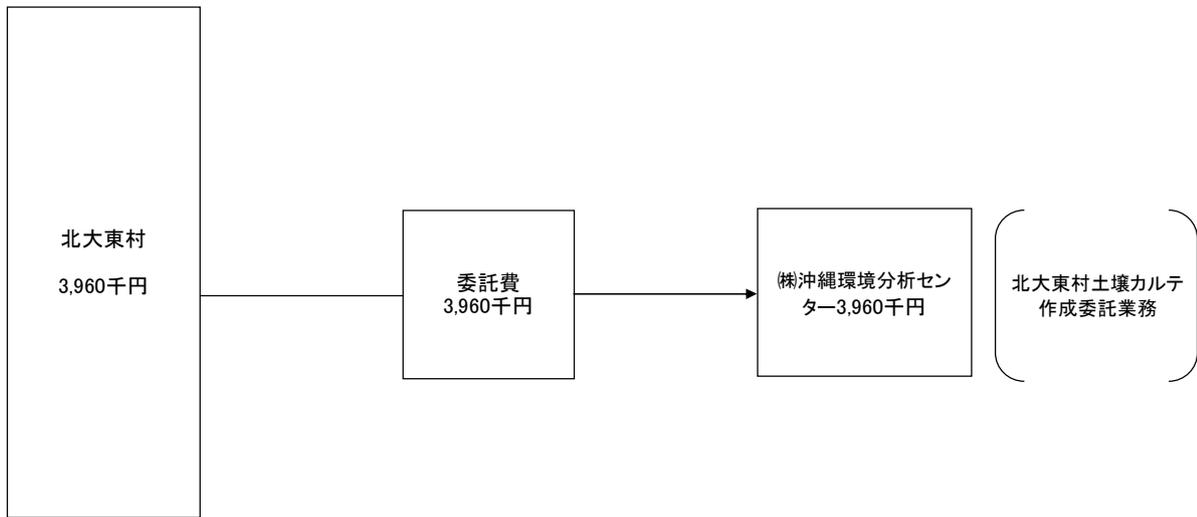
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		目標	完了			
土壌カルテ作成(120圃場)	実績	完了				
	目標					
	実績					
	達成状況説明	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による村独自の来島自肅等により、島外の受注業者が来島できず、業務工程に影響が生じた為、繰越して令和5年9月にカルテ作成が完了した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(H27-R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R7年度)
		目標	( )	(完了)	( )	( )
	実績	/	完了			/
	【令和7年度成果目標】 農産物生産量	目標	(22.526t)	( )	( )	( )
	実績	/				/
進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による村独自の来島自肅等により、島外の受注業者が来島できず、業務工程に影響が生じた為、繰越して令和5年9月にカルテ作成が完了した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	北大東島の土壌特性は、高密度、強酸性であり、本村でさとうきび等の栽培を行う上で悪条件な土壌となっており収穫量の低下に繋がることが課題となった。	各圃場毎の土壌調査を行い、土壌カルテを作成し、各圃場に適した土壌作りを促進する必要がある。
今後の取り組み方針		
土壌カルテを参考に、各農作物に適した土壌になるよう農家に助言等を行い農作物生産量を増加させる。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,960	3,960	3,168	792	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札により適正に選定しており、妥当であった。 ○予算規模については適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村
------	------

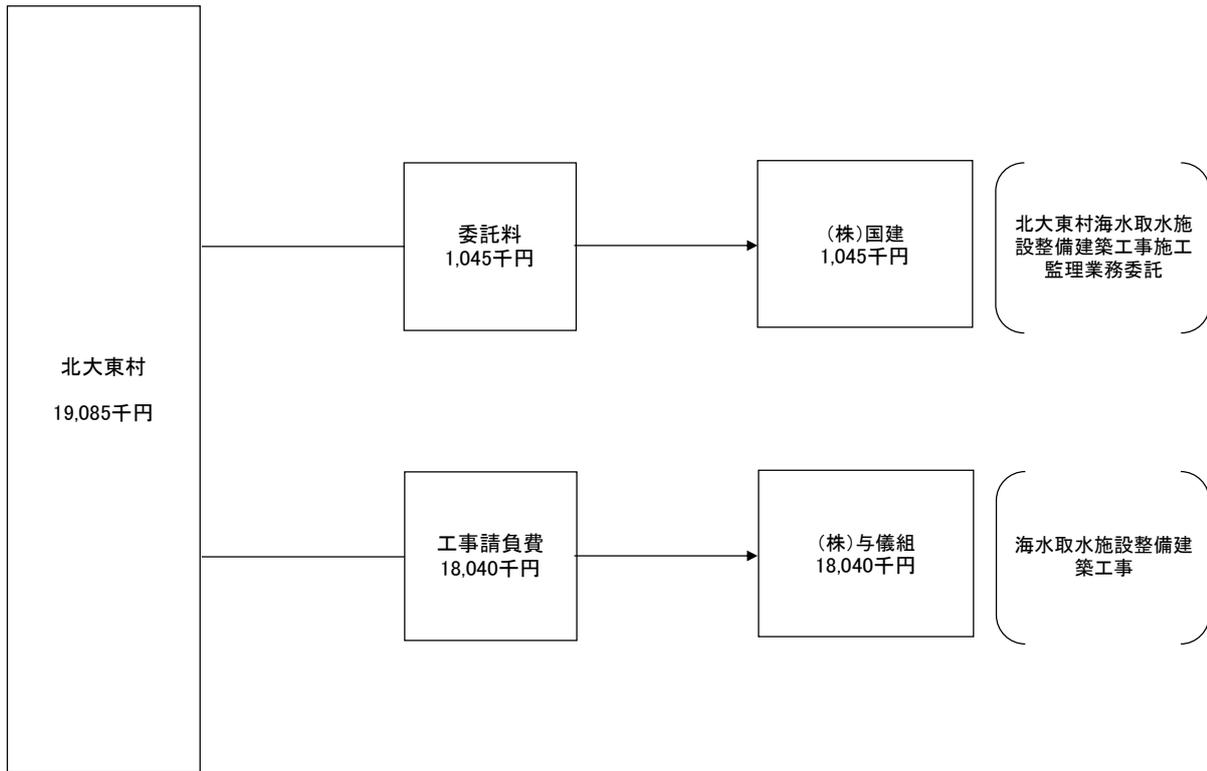
令和4年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-①	北大東村水産施設等海水供給施設整備事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ア			
担当部署名	経済課	事業実施(予定)年度	令和元~令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島ごとの環境・特性を活かした農林水産業の振興 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	鮮度保持を行う水産施設等へ海水を供給し、水産業の振興を図るため、新たに海水供給施設を整備する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( )						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度・R1年度(繰越)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	50,000	50,000	-	50,000	-
		(b) 予算現額	50,000	50,000	-	50,000	-
		(c) 増減額(b-a)	0	0	-	0	-
		(d) 繰越額	-	-	38,340		50,000
	A. 計(b+d)	50,000	50,000	38,340	50,000	50,000	
	B. 執行済額	50,000	11,660	17,490	0	19,085	
	うち交付金充当額	39,999	9,328	13,992	0	15,268	
	次年度繰越額	0	38,340	0	50,000	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	23.3%	45.6%	0.0%	38.2%	
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による村独自の来島自粛等により不測の日数を要したため、50,000千円を令和5年度に繰越した。 不用額の30,915千円については、来島自粛等で現地での調整に時間を要したことによる業務量を縮小したことによるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	海水供給施設の整備	目標	取水施設の整備	取水施設の整備			
		実績	取水施設の整備	取水施設の整備			
	取水施設塩害対策工事の実施	目標				塩害対策工事	
		実績				塩害対策工事	
達成状況説明	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による村独自の来島自粛等により不測の日数を要したため、繰越して令和6年3月に塩害対策工事が完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(H26-30年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R4年度)
		目標	( 10.7t )	( 27.7t以上 )	( )	( 41.1t以上 )	( 41.1t以上 )
	鮮魚の島外出荷量(41.1t以上/年)	実績	/	45.9t	50.8t	59.8t	/
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績	/				/
		進捗状況説明	・鮮魚の島外出荷量については、令和4年度目標値41.1t以上に対し、実績値は59.8tとなっており、目標を上回った。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・平成31年2月の漁港開港に合わせて、平成29～令和3年度にかけて他補助金で新規就業者向けの事業や、本事業を実施したことにより目標値を大きく上回る結果につながったと考える。</p>	<p>・本施設を活用し効率的かつ持続可能な漁を模索し、島外出荷量の更なる向上を目指す。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・引き続き、水揚げした魚などの鮮度維持管理等を徹底し、漁獲量の増加に努め、更なる島外出荷量の増加に努める。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
19,085	19,085	15,268	3,817	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託業者は指名競争入札により適正に選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、コロナ禍で不測の日数を要したため6割ほどの執行残が発生した。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村
------	------

令和4年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8-①	北大東村深層地下水利活用事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ア
担当部署名	経済課	事業実施(予定)年度 令和4~令和6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島ごとの環境・特性を活かした農林水産業の振興 Ⅲ-9-(2)

事業内容	水産業振興や新たな産業の創設を図るため、深層地下水の利活用を行う。
------	-----------------------------------

効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和8年度)
--------	---

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )
------	--

		R4年度	R5年度		
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況				
	(a)当初予算額	30,000	-		
	(b)予算現額	30,000	-		
	(c)増減額(b-a)	0	-		
	(d)繰越額	-	30,000		
	A.計(b+d)	30,000	30,000		
	B.執行済額	0	28,122		
	うち交付金充当額	0	22,497		
	次年度繰越額	30,000	0		
	執行率(%) (B/A)	0.0%	93.7%		
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による村独自の来島自肅等により、島外の受注業者が来島できず、業務工程に影響が生じ、30,000千円を令和5年度に繰越した。				

活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		利活用計画、試掘、成分分析	目標		完了	
		実績	完了			
	目標					
	実績					
達成状況説明	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による村独自の来島自肅等により、島外の受注業者が来島できず、業務工程に影響が生じ、繰越して令和5年10月に試掘、成分分析が完了した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R8年度)
		深層地下水の利活用プロジェクトの件数	目標	( )	( 2件 )	( )	( )
		実績	/	0件			/
	【令和8年度成果目標】陸上養殖の出荷量拡大	目標	( 2,500匹 )	( )	( )	( )	( 5,000匹以上 )
	実績	/				/	

進捗状況説明	試掘・成分分析の結果、専門家より陸上養殖には栄養分がより豊富な深い深度から取水したほうがよいと助言を頂いたため、令和6年度に深層地下水の試掘及び成分分析を行い、検出される成分に応じた利活用プロジェクトを作成する。
--------	--

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	水深-100mにおいてボーリングによる試掘及び成分分析を実施し、専門家に分析結果の検証を依頼した。	専門家より、より深い箇所から取水したほうがより良い成分が検出されるのではないかと助言であった。
今後の取り組み方針		
水深-200mで再度、ボーリングによる試掘及び成分分析を行い、検出される成分に応じた利活用プロジェクトを令和6年度に作成する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	28,122	28,122	22,497	5,625	0
<pre> graph LR     A[北大東村 28,122千円] --&gt; B[委託費 28,122千円]     B --&gt; C["(株)国建 28,122千円"]     C --- D["北大東村深層地下海水調査・分析委託業務"]           </pre>					

資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札により適正に選定しており、妥当であった。 ○予算規模については適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	